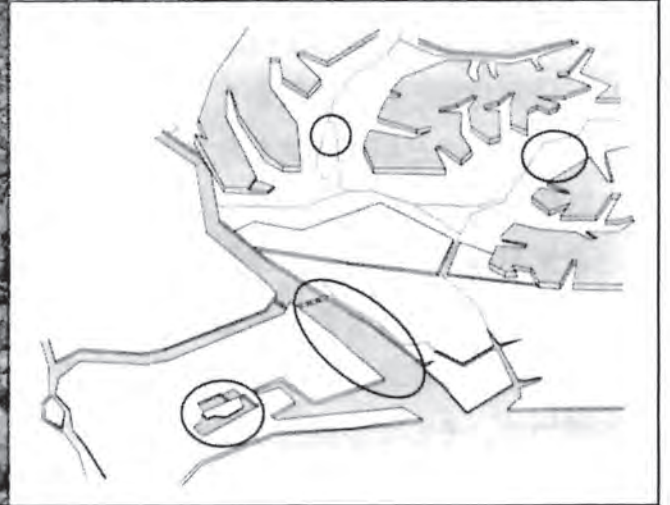


市川自然博物館

4-5月号 (通巻103号) だより



自然博物館のめ



コチドリ

左上：目のまわりの黄色い輪が目立つ。
左下：離れて見ると、巣の存在がわからない。

右上：砂利のくぼみに作った巣。
右下：開けた裸地や砂利地を好む。

今年度の特集は、博物館の観察日誌に記録された様々な内容を、「生き物カレンダー」としてまとめました。今月は『4・5月』を紹介します。

博物館の観察日誌より I

いちかわ 生き物カレンダー



4月・5月

自然博物館では、開館以来17年間にわたって自然観察の記録をつけています。これは、学芸員が日常のなかで気づいたちょっとした出来事を日誌にしたもので、種々雑多な内容が記されています。

今年度の特集では、そのうちで内容がデジタル化されている平成10年度以降の記録について歳時記風にまとめてみます。

●いちかわの4月

市川市域の4月は、周期的に天候が移り変わります。晴れの日と雨の日が交互に訪れ、気温も20℃を越したかと思うとその翌週には10℃を下回ったりします。月初めには暖房がほとんど不要になり、月の後半には汗ばむ陽気の日も多くなります。特筆すべきは2002年で、3月から暖かい日が続き、ソメイヨシノが3月上旬に開花し1週間足らずで満開になりました。4月もそのまま暖かく、春の進み方が2週間ほど早い年でした。

自然のようすに関しては、市川の4月は草木が萌え、花が咲く季節です。そして、それにあわせて昆虫も動き始めます。多くの昆虫が植物を餌としていますから、当然です。そして、昆虫が動き始めるのにあわせて、今度はさまざまな野鳥が子育てをはじめます。市川市域では、4ごろがいちばん多く野鳥のさえずりが聞かれます。

●いちかわの5月

5月は、気候が激しく変動します。特に大気の状態が不安定になることが多く、2000年の5月15日には時間雨量57ミリ（鎌ヶ谷市）という豪雨が市域を襲い、市内各地で道路が寸断され、低地はもとより台地上でも出水しました。自然博物館の建物でも地下室に水が流れ込む被害が発生しました。また、この年は同じく5月に県北部でピンポン玉大の雹（ひょう）も降り、不安定な5月の天気を象徴しています。

自然のようすでは、5月は木々の青葉が目立ち、明るい春の風景が梅雨の風景へと変わり始めます。木々の花が咲き、薄暗くなった林内でも、4月とはちがう野草が花を咲かせます。林にも海辺にも渡り鳥が多く姿を見せ、美しい姿と声をわずかな期間見せて、それぞれの旅先へ向かいます。両生類・爬虫類が活発に活動を始めます。

いちかわ生き物カレンダー 4月

植物のうごき



ソメイヨシノ

ミズキ芽吹く
 コブシ満開となる
 ソメイヨシノ満開
 タチツボスミレ群れ咲く
 キツタの黒い実、熟す
 ヤマザクラ、オオシマザクラ満開
 大町などでナシの花咲く
 サワラの花粉飛ぶ
 アケビ咲く
 カントウタンポポ咲く
 ウラシマソウ咲く



アケビ

キランソウ咲く
 ホタルカズラ咲き始める
 ノウルシ江戸川の土手を黄色く染める
 シロバナタンポポ咲く
 キンラン咲く
 コナラ、クヌギ、ケヤキなど満開
 湿地のカサゲ、クレソン咲く
 ウワミズザクラ咲き、香り漂う
 セイヨウタンポポきれいに咲く
 北部の林、新緑が見ごろ
 市内では少ないチゴユリ咲く



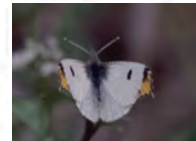
センボンヤリ

市内唯一の自生地でイチリンソウ咲く
 カキドオシの紫花、咲く
 センボンヤリ、フデリンドウ咲く
 自生のエビネ咲き始める
 堀之内貝塚などのイヌザクラ咲く
 オオジシバリ、畦で黄色く咲く
 節句前にショウブ咲く
 サワフタギ、つぼみをつける
 ギンラン咲く
 江戸川放水路のアカツメクサ見ごろ
 大町公園のツリバナ咲き始める

動物のうごき

四月上旬

ウグイスさえずる
 スナヤツメ産卵する
 モンシロチョウ、スジグロシロチョウ飛ぶ
 ツマキチョウ飛ぶ
 ツミ姿見せる
 サシバ姿見せる
 シオヤトンボ現る
 アユ江戸川をのぼる
 シュレーゲルアオガエル鳴きはじめる
 クビキリギス鳴く



ツマキチョウ

四月中旬

ツバメ川面を行きかう
 アシナガバチ巣をつくる
 コマドリが来たことがある
 カラス営巣する
 ミツバチ活発に活動する
 アオダイショウ姿を見せる
 カダヤシ群れ泳ぐ
 海にミズクラゲ出現
 おとしぶみ目につく
 ヒキガエルのおたまじゃくし泳ぎだす



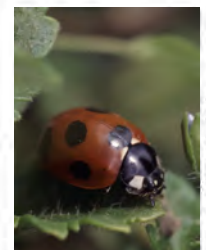
アユ



おとしぶみ

四月下旬

キアゲハ飛ぶ
 コチドリの声響く
 キビタキやムシクイ類さえずる
 シギ・チドリ干潟に来る
 オオヨシキリさえずる
 サンコウチョウ飛来する
 ホトケドジョウ群れる
 ベニシジミ飛び回る
 コクワガタ出現する
 ナナホシテントウ草先で見られる



ナナホシテントウ

いちかわ生き物カレンダー 5月

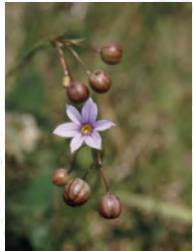
植物のうごき



ツリバナ

ハナイカダ、葉上で満開
チガヤ、若い穂になる
フジ満開を過ぎる
ツリバナ、マユミ見ごろ
サンショウの花、満開

ニセアカシアの花びら、雪のように舞う
タブノキ、地味な花を多数咲かせる
スイカズラの甘いにおい漂う
マツヨイグサ、黄花を咲かせる



ニラセキシヨウ

カシワの葉、みずみずしい
ゴンズイ、センダン咲く
ニワゼキショウ芝生で咲く
ノイバラ見ごろ
ハコネウツギ咲き、香りが漂う
エゴノキ鈴なりに咲く
キシノウブ、湿地を彩る
シロツメクサ、見ごろ
ドクダミ、咲き始める
クスノキ咲く



ドクダミ

低木のイボタノキ咲く
どんぐりの木(アカガシ、シラカシ)咲く
植栽されたホオノキ、咲く
ヤマザクラのさくらんぼ熟す
サイカチ咲き、無数の花がポロポロ落ちる
ホタルブクロ咲く
ウキヤガラなどのカヤツリグサ類咲く
クヌギ樹液を出す

動物のうごき

五月上旬

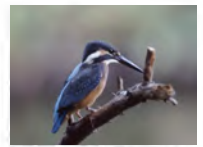
シジュウカラ子育てにいそがしい
フクロウ巣立つ
美しいジャコウアゲハ飛ぶ
コイ水辺に群れる
アマガエル鳴く
ツバメの子育て佳境
カラスの幼鳥巣立つ
干潟にカニが出現
オオスズメバチの女王、飛ぶ
ドジョウ産卵する
時にオオルリがさえずる



ツバメ

五月中旬

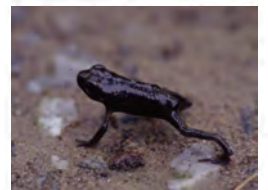
ハキリバチの仲間、葉を運ぶ
カワセミ見られる
カナヘビ、目につく
ホオジロ、エナガ、シジュウカラ巣立つ
田植えの田んぼにギンヤンマ来る
ウシガエル卵を産む
コアジサシ見られる
ボラの子、水辺で群れる
ヒキガエルの子、上陸する
ミドリヒョウモンやアサギマダラが見られることがある



カワセミ

五月下旬

クロオオアリの結婚飛行
クロアゲハ産卵する
ゴマダラチョウ、樹液に来る
ニホンアカガエルの子、上陸
ホトケドジョウの子、群れる
田んぼの水にミジンコ類
美しいヘビ・ジムグリが見つかる
アオモンイトトンボ飛ぶ
カッコウやホトトギスの声が聞かれる
アオスジアゲハ産卵する



ヒキガエル



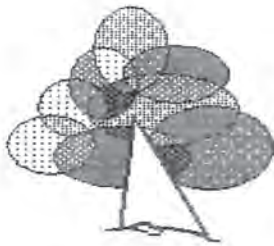
街かど自然探訪

おじゃまします!

こうや

高谷・ふれあい農園

県立市川南高校の周辺は、大型トラックの通行が多く資材置き場や残土置き場ばかりのように見えますが、少し裏の細い道を歩くと、意外と広い畑を多く見ることができます。5月頃になると、市川市農水産課が主催で市民の方に体験農業を募集して、広いサツマイモ畑をつくっています。このふれあい農園は、声をかければ気軽に入ることができます。春から初夏にかけて一面の広い畑の風景を味わって見てください。



くすのきのあるバス通りから No.48

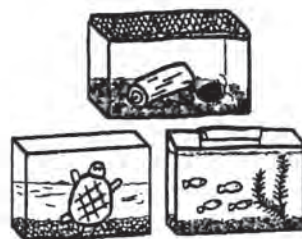
春になりました

上野恩賜公園に行きました。東京都の鳥対策の一つ、「ハトに餌をやらない。」が功を奏して、ハトがいません。お見事です。園内ではコゲラが木をラセン状にのぼったり、シジュウカラが集団で移動していました。市内のじゅん菜池でカモにお菓子やパンの耳をやっている人を見かけました。親子やお年寄りや孫の4～5組で、あまりの多さに気圧(けお)され、注意しそびれてしまいました。

3月5日北方遊水池付近でヒバリが鳴いていました。7日朝、八幡6丁目の木と草がたくさん庭からウグイスの音がしました。下校時に子供も聞いたそうです。シジュウカラが電柱の上でいい声で鳴いていました。ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ハコベ、オオイヌノフグリ、スミレetc. あちこちで咲いています。春になりました。

(M. M.)

博物館で
こんないきもの飼ってます！



アカニシ

貝類は、アサリなど食用にするもの以外は、生きている姿を見る機会はありませんので、飼育展示は重要です。でも、見て楽しい、飼っておもしろいかというと、難しいところがあります。ほとんど動かないので、それでは貝殻標本と同じです。運良く動いている時に出くわした方には、水槽に張り付いているときの足の動き、殻から出ている目などをじっくり見て欲しいのですが、隣のハゼの仔が動く水槽に、目が行きがちのようです。



こんなふうに飼っています

※ ※ ※ レイアウト ※ ※ ※

- ・ 水 …人工海水を使っています。水中から出ることはないのですが、海水は水槽8分目ぐらい入れます。陸地をつくる必要はありません。
- ・ 掃除 …水はそれほど汚れませんが、食べ残しはまめに取り除きます。
- ・ その他 …砂を敷いただけのシンプルなレイアウトです。砂を入れすぎると、潜って見えなくなるので、深さ1cmぐらいしか入れていません。

※ ※ ※ 餌 ※ ※ ※

生きているアサリなどの二枚貝を、月に1~2個やれば大丈夫のようです。冷凍した貝は食べませんでした。二枚貝に覆いかぶさるようにして殻をこじ開けるので、アカニシの大きさにあった、少し小さめの貝でないと食べられないです。食べ残しや、死んだ二枚貝は、水を悪くするので、翌日も様子を見られる日の夕方にやっています。

わたしの
観察
No. 85
ノート

◆大町公園より

- ・雪をかぶった木々の上を、真っ青な空をバックにオオタカが飛んでいきました(1/22)。すかさずシジュウカラが騒ぎだし、カラスが飛び立っていきました。
- ・しとしと雨の日、産卵のために何匹もアカガエルが姿を見せていました(1/31)。午後7時にはすでに産んでいましたが、その後はオスばかりで、午後9時前後からしきりに鳴き出しました。

金子 謙一(自然博物館)

◆柏井より

- ・クリオオアブラムシの卵塊がキャンプ場のクリの枝にありました(1/13)。
- ・住宅地でロウバイの花がきれいに咲いていました(1/15)。周囲には甘い香りがほんのりと漂っていました。

吉田 毅さん(柏井町在住)

◆国府台周辺より

- ・里見公園の少し先、市川ポンプ場近くの道端の日だまりに、オオイヌノフグリの花を見つけました(2/11)。
- ・降りきしる雪の中、エナガ3羽が長い尾を風にはためかせて目の前を飛び過ぎました(1/21)。

M.T. さん

◆江戸川より

- ・ビオトープ池と江戸川との合流点付近のタチヤナギにノスリ1羽がとまり、少し離れたオニグルミではハシブトガラス1羽が鳴き立てしていました。カラスをあまり気にしてはいない様子でしたが、私が近づくと(それでもカラスより遠方)、お尻を上げてフンをした後、飛び立ってしまいました。やはりカラスより人間が好きではないようです(1/28)。

以上 根本貴久さん(菅野在住)

- ・ヒドリガモと一緒に、オオバンが5羽以上いました(2/15)。上空をヘリコプターが通り過ぎるとムクドリの群れは慌てて飛び立ちましたが、オオバンやカモ類はあまり気にせず、のんびり浮かんでいました。

宮橋美弥子(自然博物館)

◆江戸川放水路より

- ・北風の強い日、水鳥が群れていました。首の長いカンムリカイツブリは、のんびり水面に浮かんで時々潜りました(1/18)。

金子謙一

1月には久しぶりに市内でも積雪10cm以上の大雪でした。その後は春めいた暖かい日が多くありました。



行事案内



観察会 お申し込みが必要な行事です。

〇じっくり観察会 …野外観察および標本を使って解説します。 /対象・定員：大人先着 20 名
〇いきもの観察会 …いきものの採集を通して、たのしみながら自然に親しみます。**2日とも内容は同じです。**ご都合のよい日でお申込みください。 /対象・定員：親子先着 10 組

テーマ	対象	日時	場所	受付開始日
じっくり観察会	ハチをじっくり見る	大人 5月14日(日)午前	長田谷津	4月22日～
いきもの観察会	カニやヤドカリ	親子 6月11日(日)午前 6月24日(土)午前	江戸川放水路	5月20日～

申し込み方法

往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、参加したい行事名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

季節を感じる 散歩会 お申し込みの必要はありません(雨天中止)。

*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テーマ	日時	場所
新緑の雑木林	5月21日(日) 午前10時～11時30分	柏井雑木林
緑のネックレス・雑木林めぐり	6月18日(日) 午前10時～11時30分	堀之内～国府台

長田谷津ボランティア

湿地の環境整備をお手伝いして下さいますか。(雨天中止)

- ・日時 5月28日⑩、6月25日⑩ 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もあります。作業内容や身支度、駐車場などについてご案内いたしますので、ご面倒でもまずは博物館にお電話でお問い合わせください。

野草名札付けのお手伝いをして下さいますか。(申し込み不要・雨天中止)

- ・日時 5月7日⑩、6月4日⑩ 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。



「平成18年度行事案内」
ご希望の方は、80円切手を
同封の上、博物館まで
お申込みください。

市立市川自然博物館だより
第18巻 第1号 (通巻第103号)
発行日/平成18年4月1日
編集・発行/市立市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地
☎047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku>